

塵も積もれば山あり谷あり ～ 専業エンジニアの憂鬱～

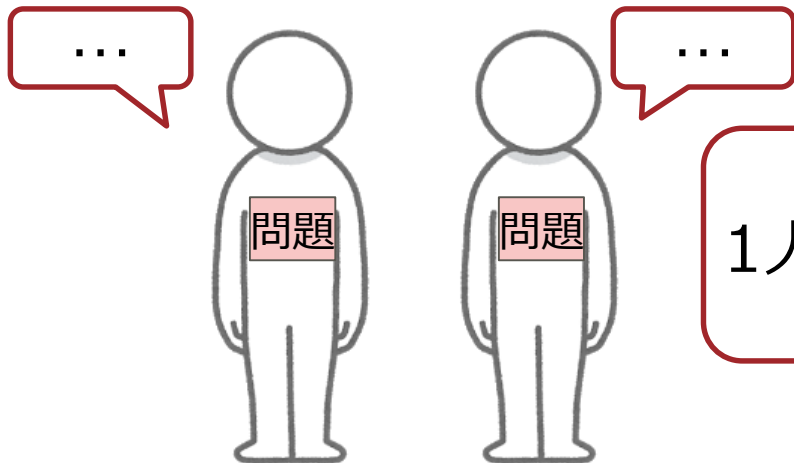
2017年4月13日

富士通株式会社 グローバルビジネス戦略本部

サービスプラットフォーム戦略企画室 インキュベーションセンター

糀場 未来

本日お話しすること



1人1人が感じているのは小さな問題でも

積み重なると手が付けられなくなると実感した話



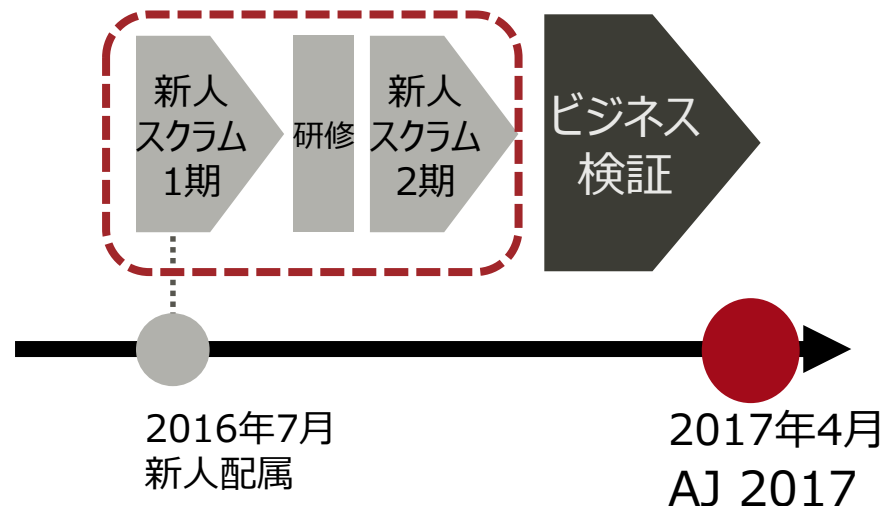
1. はじめてのスクラム

- 開発の様子
- 今振り返って思うこと

2. 新チームへ

- 新チームでの気づき
- 新たなプラクティスの誕生

3. 2つのチームで開発をしてわかったこと

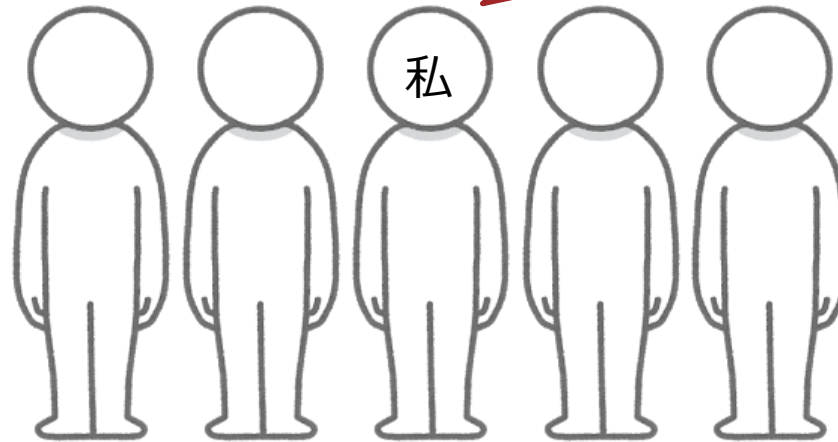


はじめてのスクラム

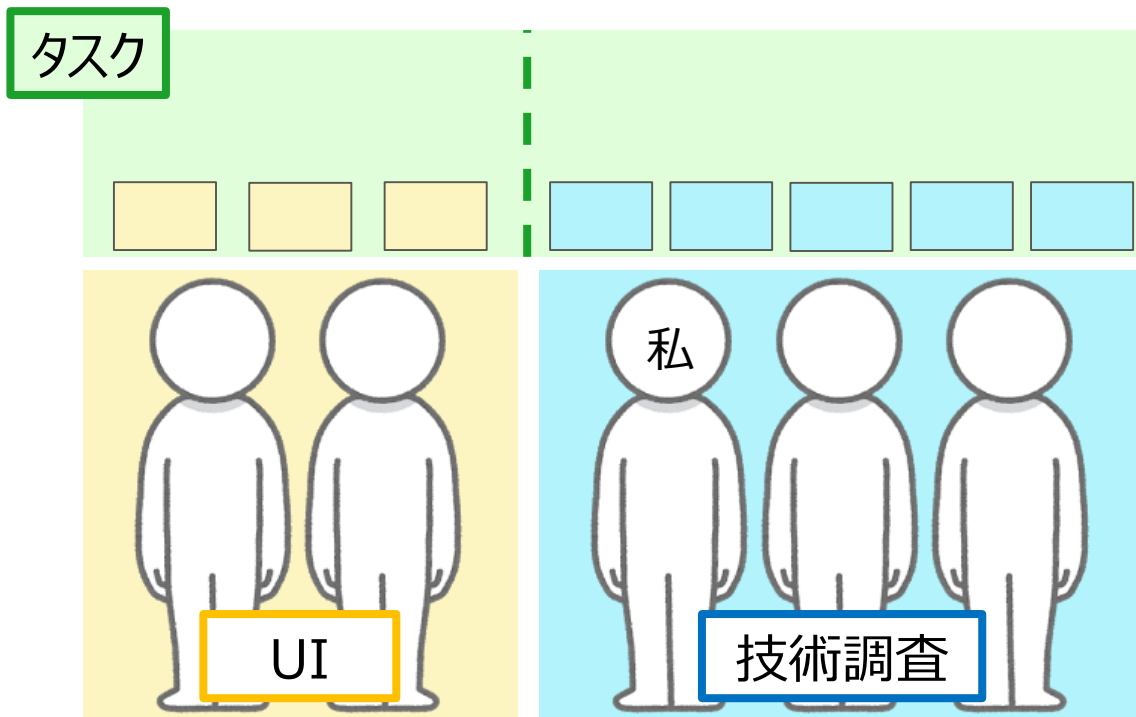
- 配属後、1か月でWebアプリケーションを開発
- 新人5人1組のチームで取り組む
- スクラムフレームワークを利用



チームでの開発経験、
スクラムに関する知識はほぼゼロ

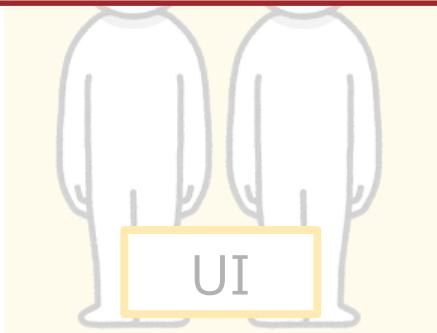


- UI班と技術調査班の2チームを結成し、チームごとに専業
- タスクは各チームで切り出し



- UI班と技術調査班の2チームを結成し、チームごとに専業
- タスクは各チームで切り出し

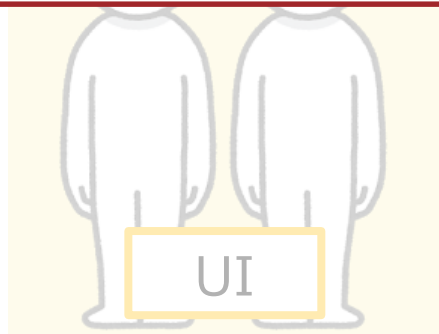
うまくいってる！



- UI班と技術調査班の2チームを結成し、チームごとに専業
- タスクは各チームで切り出し

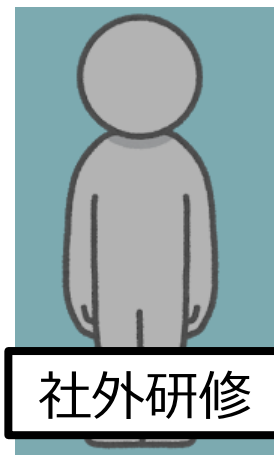
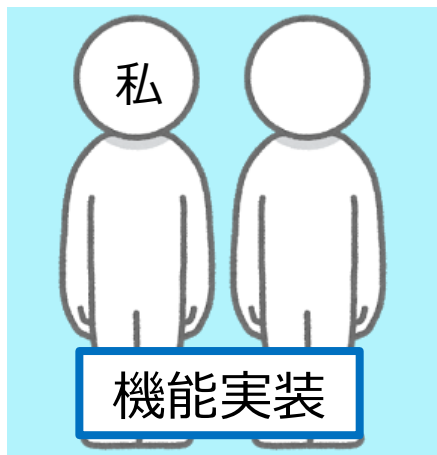
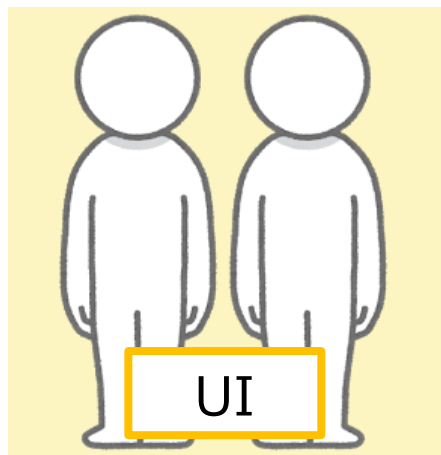
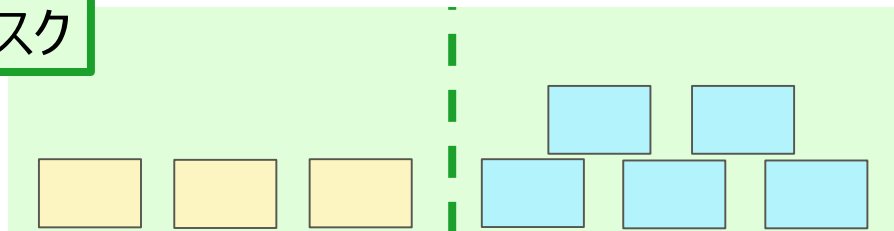
うまくいってる！

…と思っていた



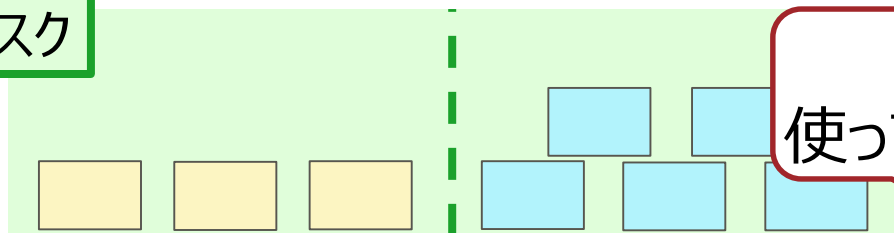
- 技術調査班はそのまま機能実装班へ
- メンバーの1人が社外研修で1週間離脱

タスク

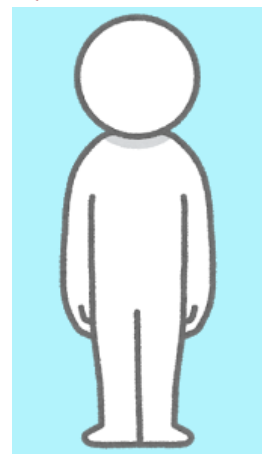
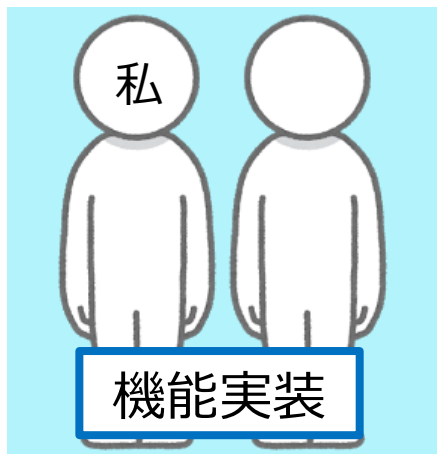
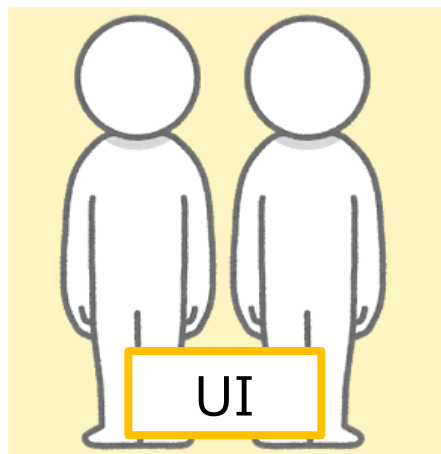


- 技術調査班はそのまま機能実装班へ
- メンバーの1人が社外研修で1週間離脱

タスク

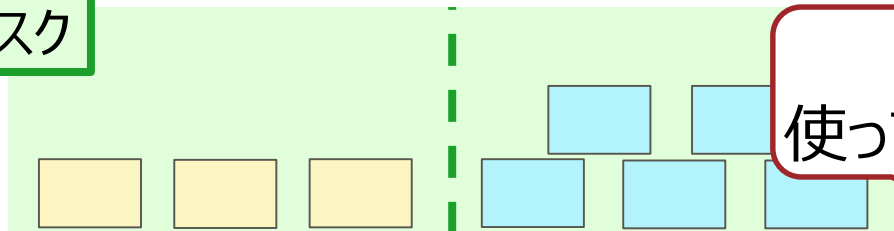


進捗状況や
使っている技術がわからない

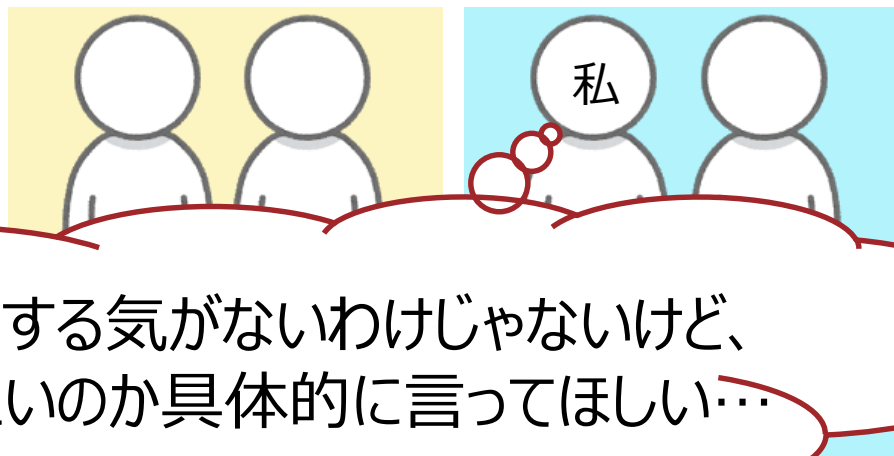


- 技術調査班はそのまま機能実装班へ
- メンバーの1人が社外研修で1週間離脱

タスク



進捗状況や
使っている技術がわからない



情報共有する気がないわけじゃないけど、
何を知りたいのか具体的に言ってほしい…

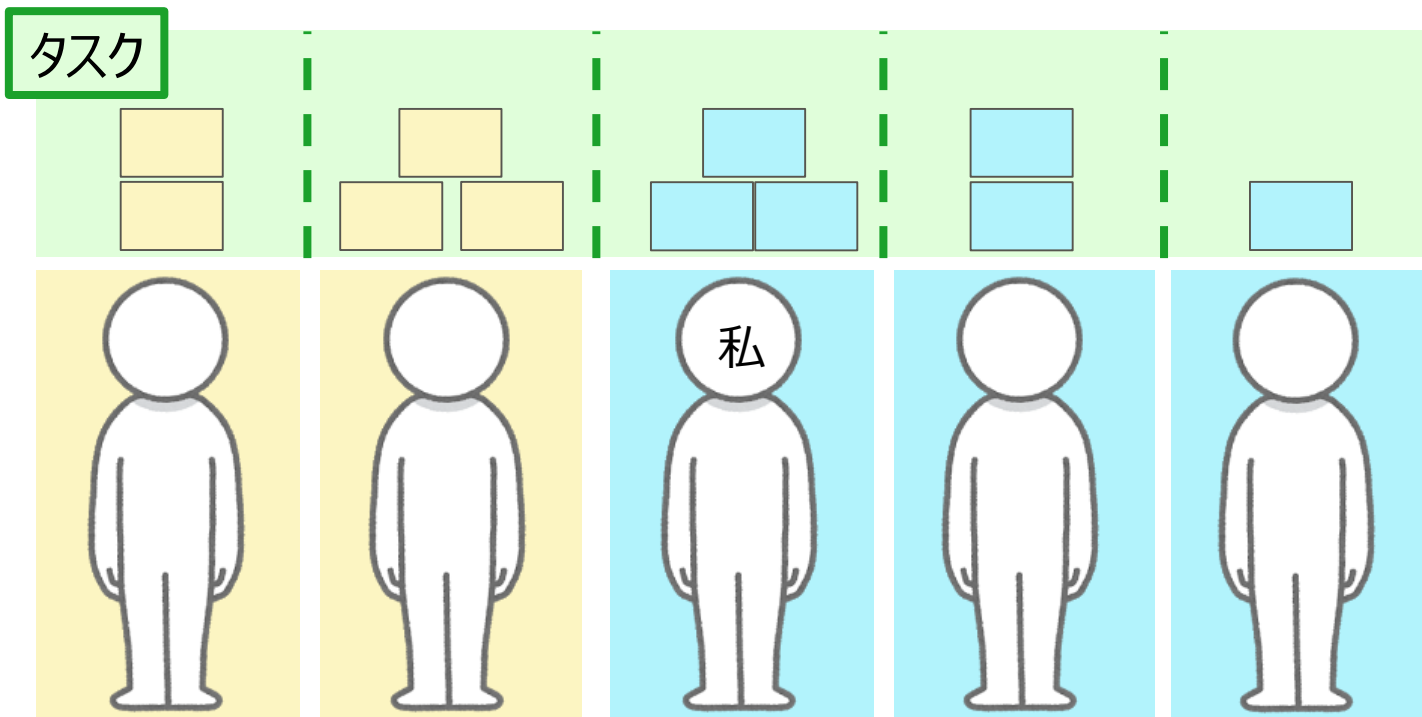
それでも進む属人化

序盤

中盤

終盤

- チーム内でも機能ごとに専業で作業を進める
- タスクも個人が切り出し



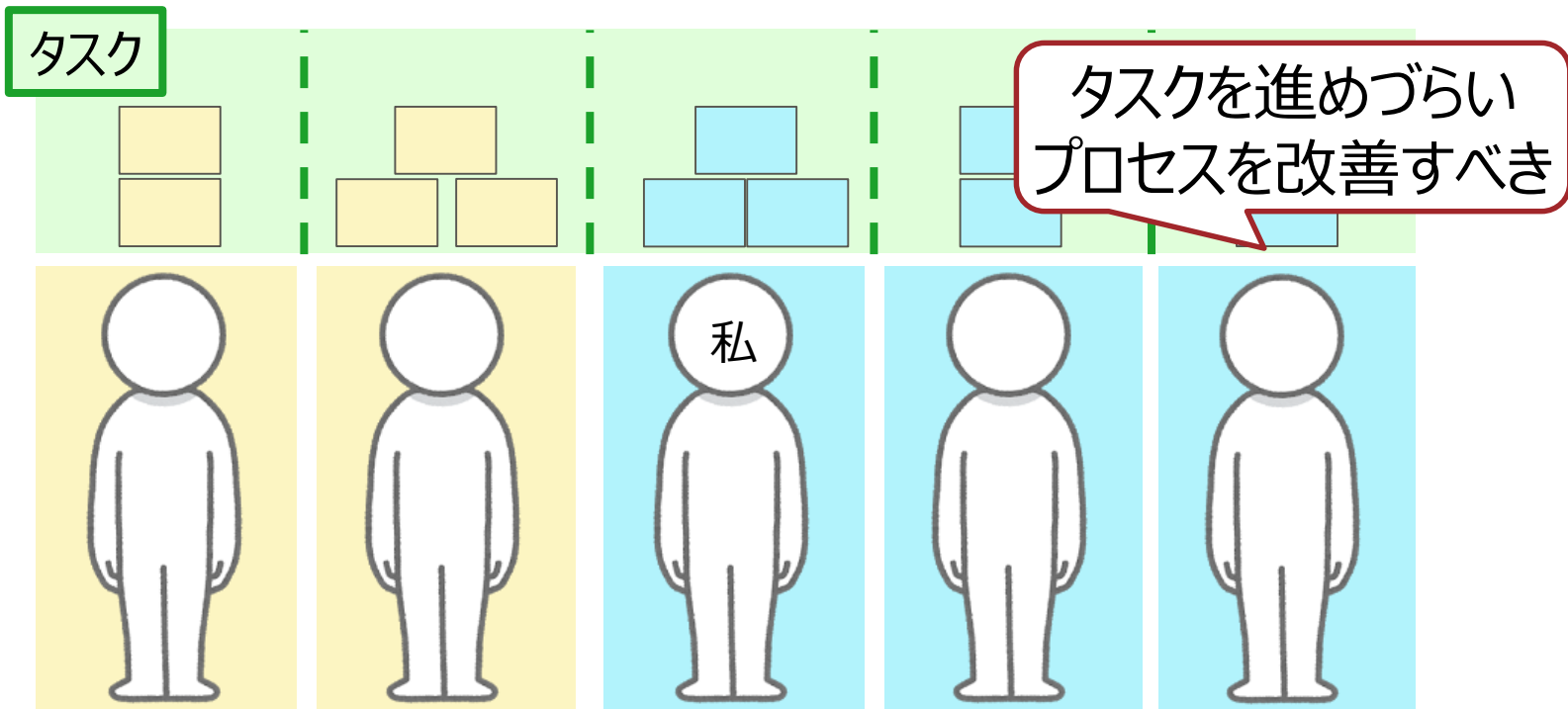
それでも進む属人化

序盤

中盤

終盤

- チーム内でも機能ごとに専業で作業を進める
- タスクも個人が切り出し



それでも進む属人化

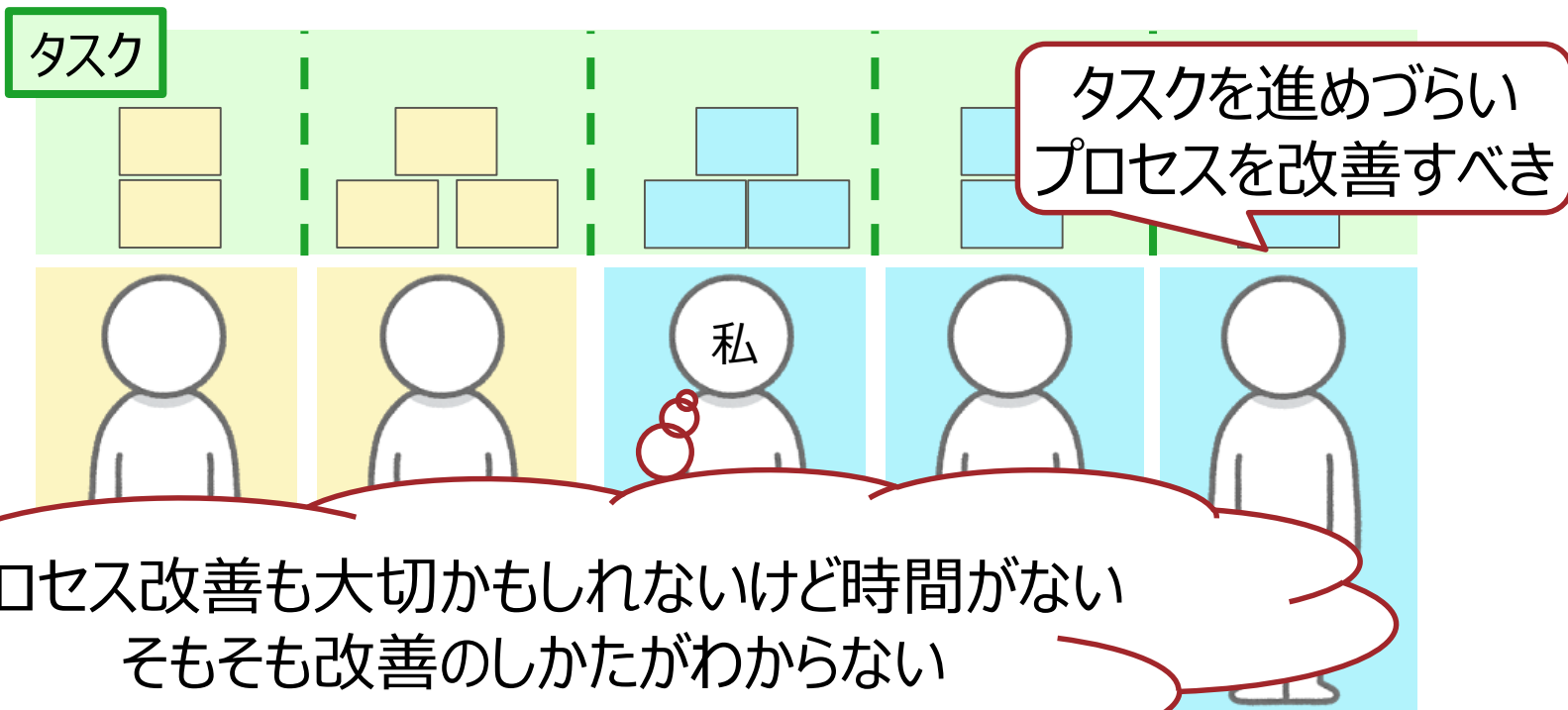
序盤

中盤

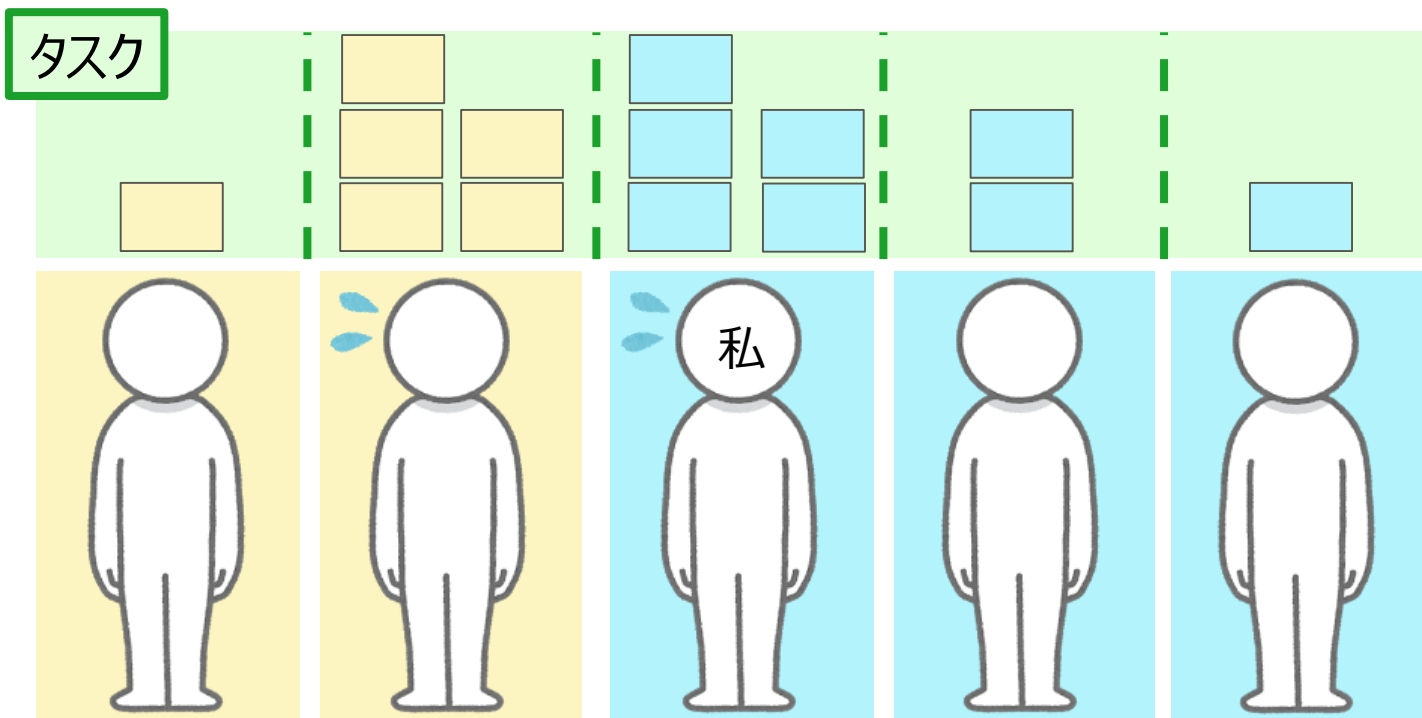
終盤

FUJITSU

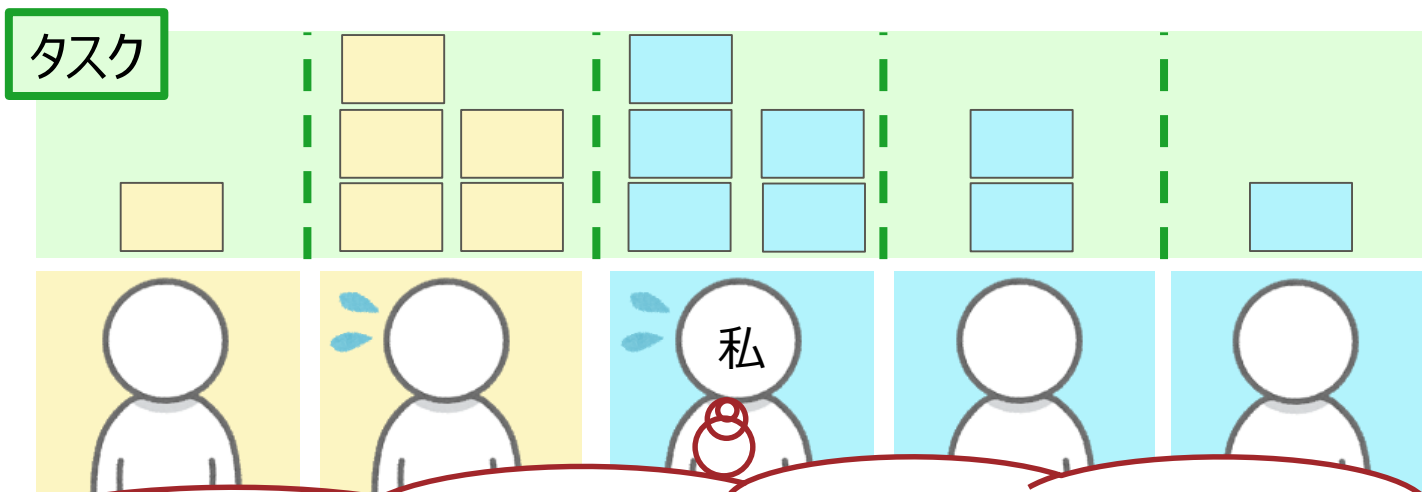
- チーム内でも機能ごとに専業で作業を進める
- タスクも個人が切り出し



- 開発物をマージし始めたあたりからタスク量の偏りが顕著に
- 全体の進捗が思わしくないのに着手できるタスクがない人も



- 開発物をマージし始めたあたりからタスク量の偏りが顕著に
- 全体の進捗が思わしくないのに着手できるタスクがない人も



忙しいけど...

ドキュメント作成やコメント記述を疎かにした自分も悪いし・・・
頑張ってる作業してよとは言いつらい

- 開発物をマージし始めたあたりからタスク量の偏りが顕著に
- 全体の進捗が思わしくないのに着手できるタスクがない人も

なんとか完成

忙しいけど...

ドキュメント作成やコメント記述を疎かにした自分も悪いし・・・
頑張って作業してよとは言いつらい

- 開発物をマージし始めたあたりからタスク量の偏りが顕著に
- 全体の進捗が思わしくないのに着手できるタスクがない人も

なんとか完成

開発物の質には納得できない…

忙しいけど…

ドキュメント作成やコメント記述を疎かにした自分も悪いし…

頑張って作業してよとはいづらい

納得のいかない結果

■時間が足りなかった

- 計画の立て方が悪かった
- スキル不足

■それでももっとできたはず

- 終盤でもっと均等にタスクを割り振ることができていれば…

プロセス改善のチャンスはあったはずなのになぜ？



■週1回のスプリントレビュー後にKPTによるふりかえりを実施

■プロセス改善のチャンスだったはず

- ① スプリントレビューでPOに指摘された事項については
順次改善できていた
- ② 開発プロセスに関するPは改善しないものが多かった

KPTによるふりかえり

- Keep(K), Problem(P), Try(T)の頭文字
- チームでK(良かったこと), P(良くなかったこと)を出し合う
- K, Pに対するT(今後実践すること)を考え、
チーム内のプロセスを改善

今振り返って思うこと～①改善できたとき～

■スプリントレビューでPOに指摘された事項



PO

できた部分については
動くものを見せてほしい

次スプリントの計画を
もっとしっかり立ててほしい



開発メンバー

次からはデモを準備しよう

プロダクトバックログを
明確に提示しよう

■スプリントレビューでPOに指摘された事項

できた部分については

次からはデモを準備しよう

何が問題だったのかわかりやすい
指摘に対し、具体的な解決策をイメージできる

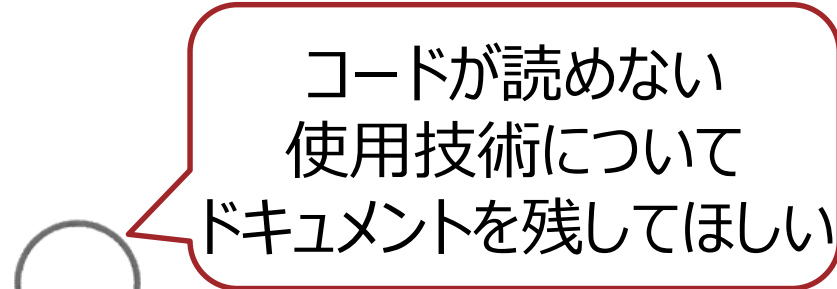
次スプリントの計画を
もっとしっかり立ててほしい

プロダクトバックログを
明確に提示しよう

PO

開発メンバー

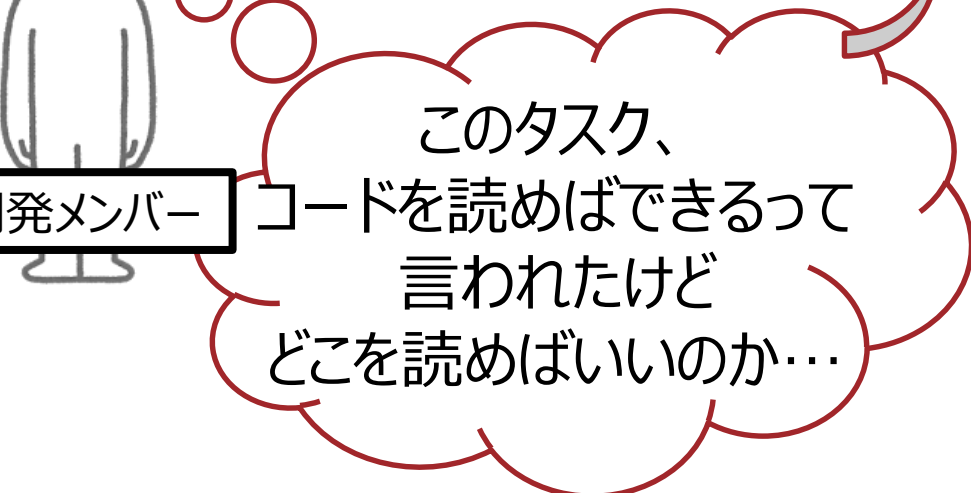
■開発プロセスに関するP




コードが読めない
使用技術について
ドキュメントを残してほしい

抽象化

開発メンバー



このタスク、
コードを読めばできるって
言われたけど
どこを読めばいいのか…



時間がないし…
大丈夫じゃない？

開発メンバー

■開発プロセスに関するP

根本的な問題点が伝わらない

コード使用
ドキュメントを残してほしい

抽象化

このタスク、
コードを読めばできるって
言われたけど
どこを読めばいいのか...

意味がわからない...
わからない?

開発メンバー

開発メンバー

■開発プロセスに関するP

コードが読めない
使用技術について
ドキュメントを残してほしい

抽象化

開発メンバー

このタスク、
コードを読めばできるって
言われたけど
どこを読めばいいのか…

ドキュメント？
いるのはコメントじゃない？

開発メンバー

■開発プロセスに関するP

コードが読めない
使用技術について
ドキュメントを残して(利用)

ドキュメント？
いるのはコメントじゃない？

1つの問題に見えても複数の課題で構成されている

開発メンバー

このタスク、
コードを読めばできるって
言われたけど
どこを読めばいいのか…

開発メンバー

■開発プロセスに関するP

根本的な問題点が伝わらない

1つの問題に見えても複数の課題で構成されている

終盤には手が付けられない状態になってしまった

新チームへ

- 約3か月のプロジェクト
- 新人5人1組のチームで取り組む
- スクラム研修受講済



チームの問題点をきちんと共有して改善していくことが大切！

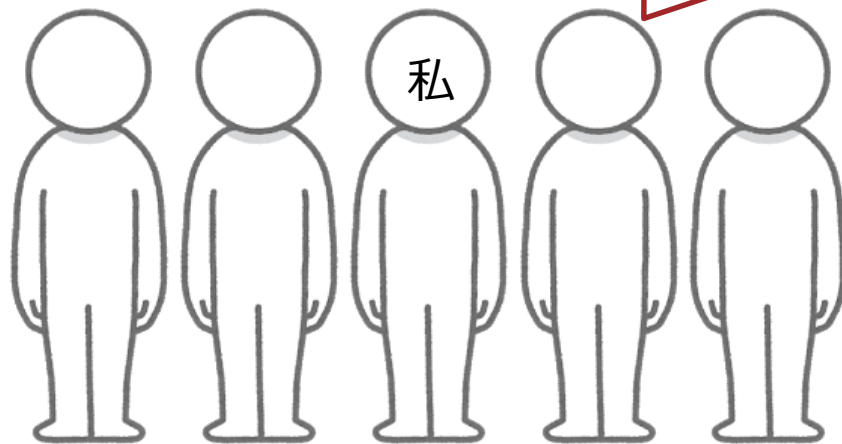


研修で学んだペアプロもやってみよう！

でもチームの問題点は
どうやったらうまく共有できるの？

■夕会で今日困ったことを言ってくれる人がいた

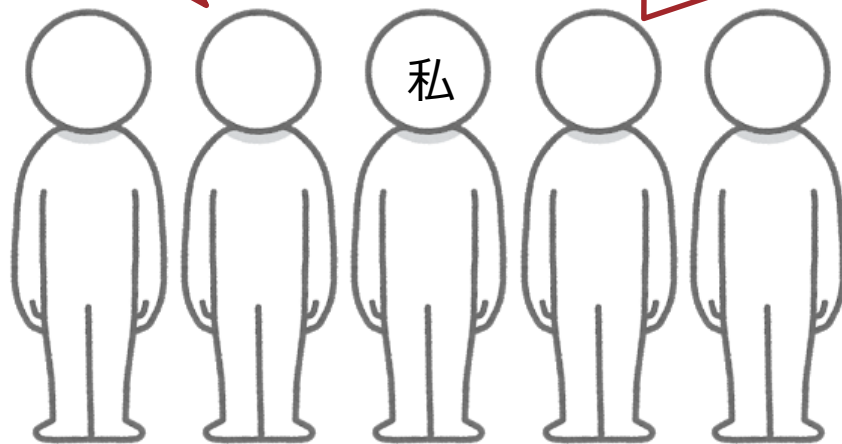
今日コーディングしてて
全然わからないメソッドあったから
1回説明してほしい



■夕会で今日困ったことを言ってくれる人がいた

確かにこれは読みづらい
明日説明するね

今日コーディングしてて
全然わからないメソッドあったから
1回説明してほしい



■夕会で今日困ったことを言ってくれる人がいた

確かにこれは読みづらい
明日説明するね

今日コーディングしてて
全然わからないメソッドあったから
1回説明してほしい



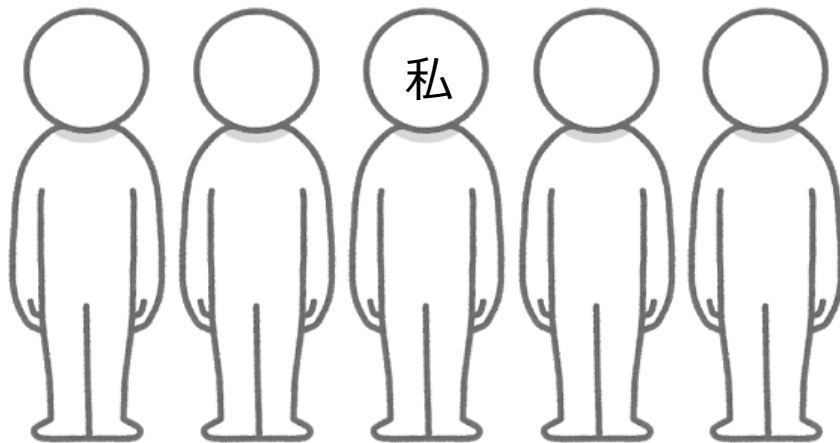
こうやって細かく言っていけばいいんだ！

新たなプラクティスの誕生

- 夕会で今日困ったことを言ってくれる人がいた
- 他の人も言うようになった

コメントの書き方を決めよう

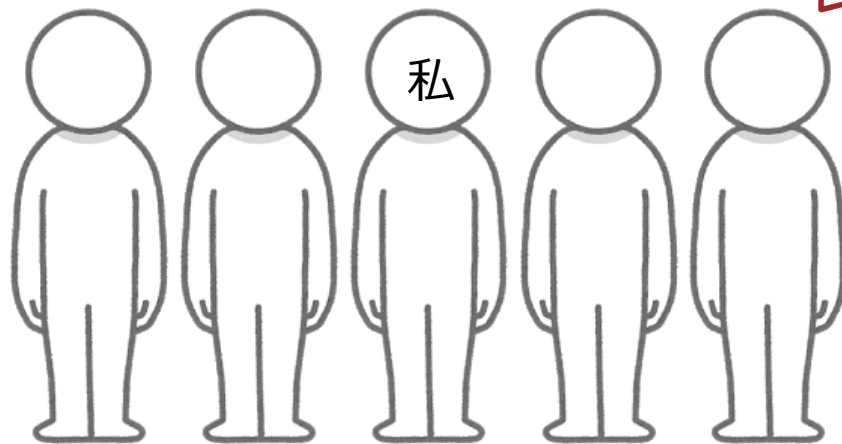
コメント書くて言っても
何を書けばいいのかわからない



新たなプラクティスの誕生

- 夕会で今日困ったことを言ってくれる人がいた
- 他の人も言うようになった
- 週1回のKPTで、「Pを忘れる」というPが出た

夕会でKPTをしよう！



P出し忘れる…

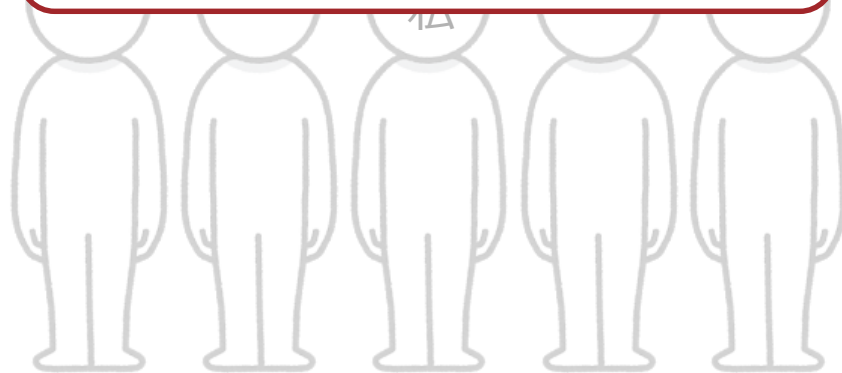
新たなプラクティスの誕生

- 夕会で今日困ったことを言ってくれる人がいた
- 他の人も言うようになった
- 週1回のKPTで、「Pを忘れる」というPが出た

夕会でKPTを

プチKPT誕生

出し忘れる…

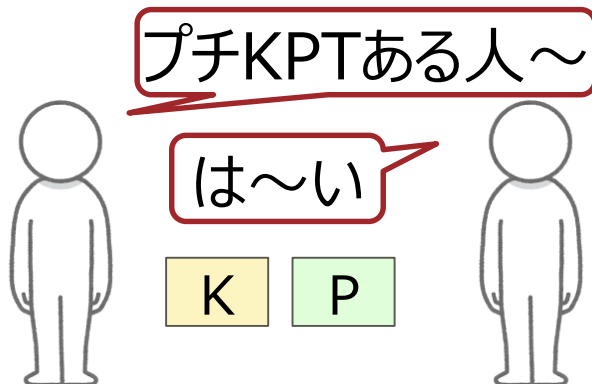


プチKPTのやり方

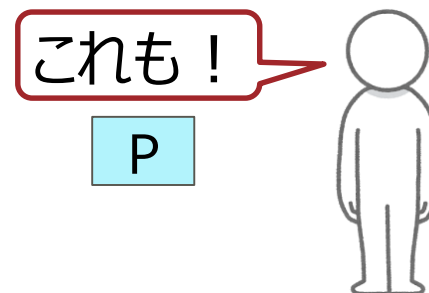
① KやPが浮かんだら
書き留めておく



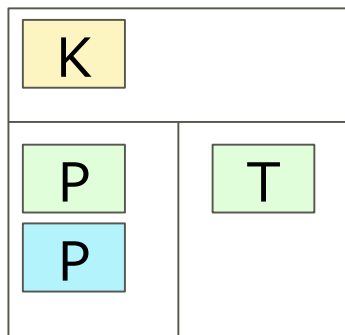
② 夕会で発表



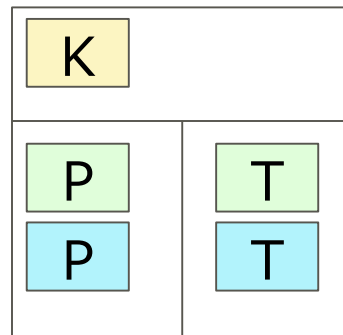
② '書き留めてなくても
思いつけば発表



③ その場で思いつくTryは
すぐ書く



④ その場でTが出なかったPに対するTは
週1回のKPTで考える



■思ったことを忘れないうちに言える

- 「Aさんに助けてもらって作業が進んだ」など
感謝の気持ちやうまくいったことがKとして出やすい

チームの雰囲気良くなる
夕会にも活気が出て、明るく1日を終わられる

- 実際に困ったエピソードをベースにPが出る

根本的な問題を見つけやすい → Tryも出しやすい

■KやPがないか日頃から意識するようになる

今のチームが抱えている問題に素早く対応できる

2つのチームで開発をしてわかったこと

■ 1人1人が感じている問題は小さくても、 積み重なると問題は大きくなる

■ 抽象化されると根本的な問題点が伝わらない

- 特に専業で作業している場合は、わかりやすく伝えようとして抽象化してしまいがち

■ 1つの問題に見えて複数の課題で構成されているときは 解決策を出しづらい



2つのチームで開発をしてわかったこと

- 1人1人が感じている問題は小さくても、積み重なると問題は大きくなる



- 抽象化されると根本的な問題点が伝わらない

- 特に専業で作業している場合は、わかりやすく伝えようとして抽象化してしまいがち

- 根本原因

問題が大きくなる前に
チームメンバーと問題を共有することが大切

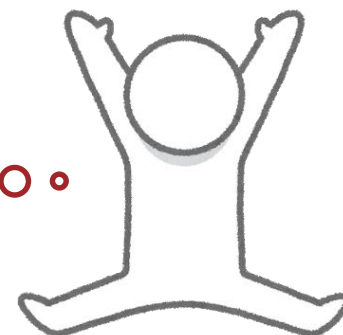


2つのチームで開発をしてわかったこと

- 体験を通じて感じた不便さ、違和感、不快感などの具体的なエピソードは伝わりやすい



問題 問題



2つのチームで開発をしてわかったこと

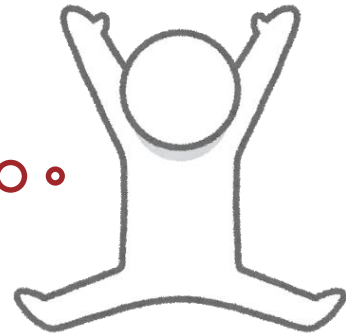
- 体験を通じて感じた不便さ、違和感、不快感などの具体的なエピソードは伝わりやすい



すぐに
具体的に
ちょっとしたことでも } 伝える

問題 ✓ 問題 ✓

良いサイクル！



2つのチームで開発をしてわかったこと

- 体験を通じて感じた不便さ、違和感、不快感などの具体的なエピソードは伝わりやすい



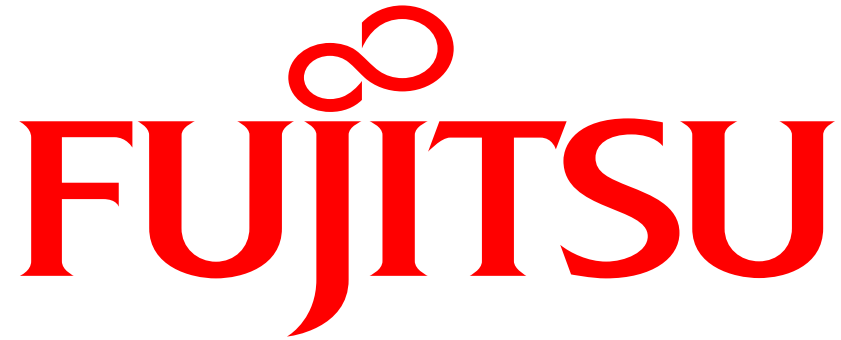
すぐに
具
ち

プチKPT
おすすめです！



良いサイクル！



The logo features the word "FUJITSU" in a bold, red, serif font. Above the letter "J" is a red infinity symbol (∞).

FUJITSU

shaping tomorrow with you